

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行: 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 486

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ風の作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東1階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



採便管入れをしている岡口さんです

仕事がんばる

あさやけ風の作業所

仲間紹介

ひとりひとりが太陽

スパイダーマン、あさやけ鷹の台
大好きです

神吉 拓海さん
(あさやけ鷹の台作業所)



三月に田無特別支援学校を卒業し、作業所に入所しました。入所してまだ半年、もうすぐ十九歳の新しい仲間です。朝、大きな声で「おはようございます！」と元気に登所します。下請け班に所属し、ダイレクトメールの封入、封緘、ラベル貼りの仕事をしていきます。封入の順番などはパッと見でほとんど間違えずに行うことができます。作業に集中して取り組む姿は、入ったばかりの新人とは思えないほどです。神吉さんに「仕事はどうですか？」と聞いてみると、「丁合、封とじ、ラベル貼り、おもしろい。」との答え。今年は一日レク、旅行が中止となり、楽しみにしていただけに残念でしたが、初めての給料日はとても楽しみな様子で、給料を買った時は「やった」とニコニコ笑顔。欲しかったスケートボードを買い、「今度ゲームとDVDを買いたい。」と楽しみが増えているようです。好奇心旺盛でやりたいことがいっぱいある神吉さん。作業所でも大好きなスパイダーマンのコスプレをしたり、ウクレレを弾いたり、

ダバンプの「U・S・A」を振り付きで踊ったりと愉快なエピソードは盛りだくさんです。そして好きなことの一つに工作があります。何かを組み立てたり創作することが大好き。休憩時間に自分が中に入つて動かせるダンボールのロボットを作ったり、紙を何枚も継ぎ足して大きな地図を作ったこともありました。その地図には線路や自分のお家、作業所の仲間や職員のお家が描いてあり、それを見た仲間は感心しきりです。

仲間と遊びたくてついいたずらしたり、しつこくしてしまうことがあります。そして仲間から怒られてしまうこともあります。でもまだ始まったばかり。作業所で仕事をしていく中で、仲間と一緒に楽しんだり、ぶつかりあったり、様々な経験を通して成長していくことと思います。神吉さんのこれからの成長を楽しみに期待とともに応援しています！

きょうされん「生産活動・利用者工賃実態調査」が七月に実施され五八三カ所の事業所からの回答を受けた最終報告がなされた。七十%を超える事業所で生産活動が減収し、作業収入の回復に関しては「全く見通しがない」または「わからない」との答えが六十三%（回答箇所五一一）と先の見えない不安が示された。

あさやけ鷹の台作業所では毎月の工賃を現状維持し支給してきたが、今年度夏のボーナス

は一人あたり平均約一万五百円の一か月分となり昨年夏の平均約三万一千円の三か月分よりも減額となった。「自分たちの給料を自分たちで稼ぐ」ことを事業目標としてきたが主な作業種目であるダイレクトメール発送作業と自主製品ともに収益を伸長させる活動に制限を受けざるを得なかった。これまでの利用者給与体系を見直し改定も検討されている。

ウイルス禍のただなか、作業所を含む支援機関は人を介する三密を招きやすい場でもあった。あさやけ鷹の台作業所も活動時間の短縮や利用者への通所自粛要請の期間を経ってきた。「距離を、マスクを」とはいえ近づき話しかけてくる通所者もあり

活動自体にリスクを伴った。日ごと発表される感染者数と本当の正解が分からないままの半年間、在宅時間が長くなったことから体調を崩し入院する利用者もあつた。それでも労働活動の保障を中心に開所を継続した。大義などはなく送り出すホームや保護者からすると他に日中過ごせる場所も無いがゆえだったのかもしれないが、利用者にとつては通所する場所が存在したこと保たれた部分もあつたものと思いたい。

生産活動といまある日常 開所を続ける現場から

あさやけ鷹の台作業所
齊藤 洋介

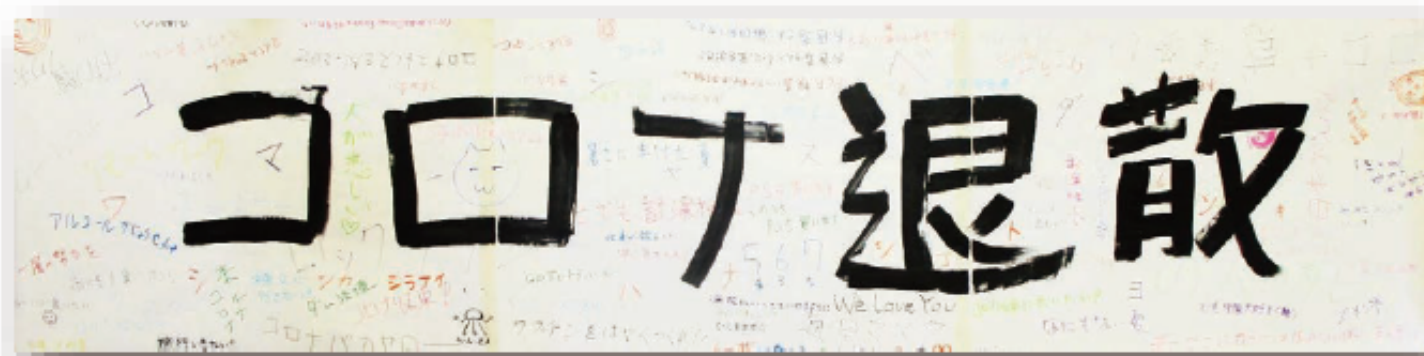
具体的な数値や成果として示される事柄ではないけれども作業所での日々いくつかの場面はあつた。自主製品で作った布マスクをお客さんに買ってもらう喜ぶなかま。冊子など重い発送物を結束する機械作業を率先して行うようになったなかま。

普段憎まれ口をたたきながらもトラックに作業荷物の積み降ろしを手伝うなかま。中止された行事や会えなくなっている人もあるなか、「あした仕事なにやんの？」と聞いてくる彼らは制限された状況をなんとか受け容れながら活動してきた。いつか振りかえる時が来て「続けてきたから今がある」と気づく日を待ちたい。

2020 あさやけアートフェスティバル

あさやけ第二作業所のアマビエ

今年は新型コロナのため七夕やバーベキュー、秋の旅行もなく息苦しいマスクをつけて作業所では仕事のみの生活です。早くこの状態から抜け出せるように願いを込めて「第二のアマビエ」と「コロナ退散」の作品を久しぶりに合同作品で制作。第二のみんなを守ってくれるステキなアマビエが完成しました。作業室の天井に貼ることに。



新型コロナのせいで出来なかったこと、これからやりたいこと、あふれ出る気持ちを言葉にして「コロナ退散」に書き入れました。第二のアマビエは、みんな勝手に描き込み不思議な形と色のアマビエに仕上がりました。新型コロナが無事収束するまでみんなを見守ってくれるでしょう。



2020年のアートフェスティバルが中止になりました。その代替りとして作品の発表を「あさやけだより」の紙面で行います。毎月掲載しますのでお楽しみに

美大の学生と一緒に創作活動… 介護等体験

今年もときわ会では武蔵野美術大学学生さんの介護等体験の受け入れを行いました。

体験先はあさやけ作業所、あさやけ風の作業所、あさやけ鷹の台作業所、あさやけ第二作業所、サングリーンで、学生さんは総勢30名でした。

この介護等体験ではいつも学生さんたちが企画した美術の創作活動を行う交流企画というのですが、今回は新型コロナウイルスの影響でいつものような準備や話し合いができないまま当日を迎えました。しかし、そこはさすが武蔵野美術大学の学生さん。楽しみながらいっしょに作品を創り上げていくスタイルは今年も変わらないままで活動が進み、メンバーたちのたくさんの笑顔を見ることができました。



介護等体験とは

小学校及び中学校の教育職員免許状を取得するためには特別支援学校及び社会福祉施設等で7日間、障害のある児童・生徒、利用者などと交流し、共同活動や介護、介助といった様々な活動を体験しなくてはなりません。その目的は「日本社会で高齢者や障害者に思いやりをもった教師が、義務教育の指導に携わってほしい」との願いが込められています。

学生の感想

・最初は戸惑うことばかりでしたが、日を迫るごとに言葉以外でのコミュニケーションのとり方を覚えていけたのが自分でも嬉しかったです。その人なりの気持ちの通わせ方や心地良い距離感、ペースがあるのだろうと理解し、それに合わせていくことがコミュニケーションをとるにあたって重要なことだと学びました。

・今回の介護等体験を通し、作業所でおこなっている「得意なことを伸ばし、生かす支援」をするための工夫を知ることができました。交流企画を通して、その難しさや面白さを学べたことがとても良い経験となり、美術と福祉をつなげる役目というものに自分自身興味を持つことができました。



2020 あさやけアートフェスティバル おだまき

おだまきは、さき織りをしている就労継続支援B型の作業所です。織り上がった反物は、バッグや小物などに仕立て、販売をしています。

おだまきでは、メンバーが描くストーリーをもとに織る等をし、感性を磨くことも仕事の一つと考えています。

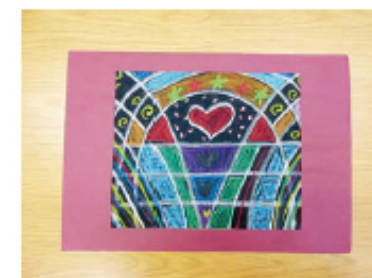
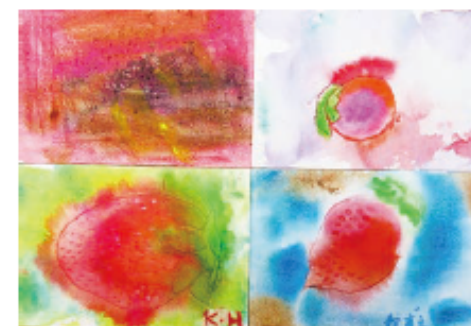
その取り組みには、月2回の五感を磨く「デザインの勉強会」と月1回のアートに触れる「ビデオ学習会」、月1回の平面や立体作品を制作する「絵の時間」があります。

主にアートフェスティバルに出展している作品は「絵の時間」で制作しています。

「絵の時間」では、臨床美術のプログラムを使用し、普段の織りとは違い、その時間はリフレッシュになるようです。

参加するメンバーは、毎回楽しみにしてくれて5年続いています。

より良い織りの仕事をし続ける為にも今後も制作意欲を駆り立てる刺激的な時間を作っていきたいと考えています。





あさやけの焼き菓子セット

バター香り豊かな、5つの味を楽しめる箱入りの焼き菓子セットです。
すべて国産小麦粉を使用、ブルーベリーマフィンにはサングリーン製のジャム（小平産ブルーベリーを使用）を練りこんでいます。ちょっとした贈り物に、自分へのご褒美に、楽しいお茶のひと時に…ぜひお召し上がりください。

**** 6個入り 1000円 ****

プレーンマフィン	1個
チョコチップマフィン	1個
ブルーベリーマフィン	1個
抹茶ベリーマフィン	1個
マドレーヌ（プレーン）	2個



ご注文は 042-345-4575 あさやけ作業所まで

個数・内容のご相談も承っております。
平日3日前までにご連絡ください。
※宅配便（ヤマト運輸）もご利用いただけます。
【料金の目安】関東圏は704円（2箱の場合は814円）



ときわ会ホームページからもご注文いただけます。

廃品回収のお知らせ

7月の廃品回収の回収量は5,000kgでした。内訳は新聞3,550kg、雑誌・ダンボール1,450kgです。収益は59,840円でした。

次回は10月17日（土）が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。